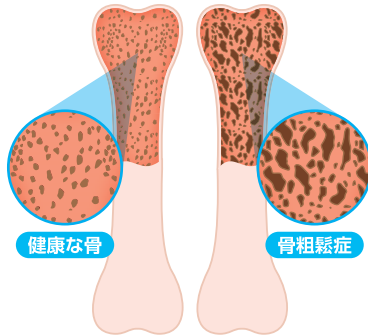


抗加齢オプション

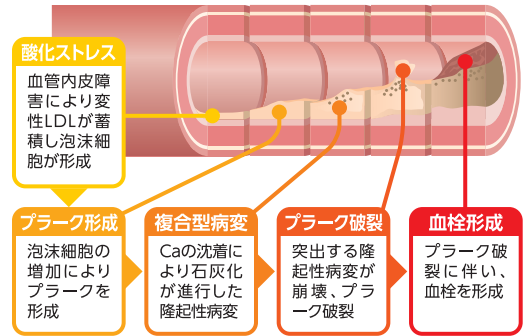
加齢に伴う疾患リスクを知る

狭心症や心筋梗塞などの心疾患、くも膜下出血や脳梗塞などの脳卒中は、日本人死亡原因の上位であるとともに重い後遺症による要介護要因でもあります。また、骨や筋肉の衰えによる転倒は骨折等の怪我に繋がり、寝たきり生活の原因となります。これらの疾患リスクは加齢とともに高くなる傾向があり、リスクを早期に把握し、その発症や進行の予防に努めることが重要です。抗加齢オプションでは、頸部の超音波検査や血液検査等で血管系疾患、DXA検査で骨密度や体組成を測定することで運動機能の低下リスクの発見に努めます。

骨粗鬆症による骨密度の低下



動脈硬化の進行



抗加齢オプションはこんな方におすすめ!

- 血圧・コレステロール値・血糖値が高い
- 運動不足・肥満傾向を指摘されている
- 喫煙・多量飲酒の習慣がある
- 日常的にストレスや疲労を感じている
- 血縁者で脳卒中になった方がいる
- 閉経された女性

抗加齢オプション検査内容

追加料金

30,000円(税込)

追加時間

約30分

超音波検査(頸部)	超音波を体外から照射し、その反射波を利用して画像にします。頸部血管の動脈硬化性変化や閉塞・狭窄を調べる検査です。
DXA検査(骨密度・体組成)	X線で全身を撮影して、骨と脂肪とそれ以外の部位を区別します。全身の体組成と腰椎の骨密度を調べます。
血圧・脈波検査	ABI(足関節上腕血圧比)とPWV(脈波伝播速度)を計測し、血管の狭窄や閉塞ならびに動脈硬化の進行度を調べます。
LOX-index検査	脳梗塞・心筋梗塞発症リスクを評価する指標です。リスク因子である血中のsLOX-1とLABを解析します。
追加血液検査	アディポネクチン、SD-LDLを測定し、血管疾患のリスクを調べます。
追加尿検査	尿中アルブミンを測定することで、血管の炎症を把握し、動脈硬化のリスクを調べます。

●すべての病変が発見されるわけではありません。●PETがん検診／総合コースに追加できる検査です。単独での受診は出来ません。

お問合せ・お申込み・仮予約はこちらから

[受付窓口] 浜松ホトニクス株式会社健康情報室

[受付時間] 月曜～金曜午前8時30分～午後5時30分(一部祝日除く)

※浜松PET診断センターの窓口業務は、浜松ホトニクス株式会社に委託しています。

お電話

☎0120-584-722

ウェブサイト

www.hmp.or.jp



一般財団法人 浜松光医学財団
浜松PET診断センター

〒434-0041 静岡県浜松市浜北区平口5000 (浜松ホトニクス中央研究所内)

TEL:053-584-6581 FAX:053-584-6582

●サンストリート浜北から西1.5 km

●最寄駅:遠州鉄道 浜北駅